

一三二一専修

専修大学ホームページ http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行 (定価一部90円) 発行所 専修大学広報課 101-8425 東京都千代田区 京田保町3-8 石巻専修大学 03-3265-5819(直)

主なニュース

- 10 司法試験最終合格者、本学から12人……
- 9 ホームページ一新 望月宏ホームページ運営委員会議長……
- 8 「私たちが応援します」 学生就職アドバイザー……
- 7 「スポーツ政策も国家戦略の時代」久木留毅文学部准教授……
- 6 学生寄稿・ロンドンの広場でパラリンピック取材……
- 5 創立133年鳳祭(11月1日〜4日) お知らせ……
- 4 石巻専修大学 2012石巻祭・ホームカミングデー……

2012年度 川崎市スポーツ賞 サッカー部の受賞決まる

2012年度の川崎市スポーツ賞を体育会サッカー部が受賞することが決定した。

同部は第85回関東大学リーグ戦1部で初優勝、第60回全日本大学選手権で初優勝を遂げ、これが評価された。

なお、表彰式は11月8日、川崎市国際交流センター(中原区)で行われる。

△記事は6面▽

専修大学社会体育研究所公開シンポジウム2012 「スポーツの力を考える。『スポーツを通じた社会開発』」

▽基調講演 鈴木寛氏(元文部科学大臣/参議院議員)

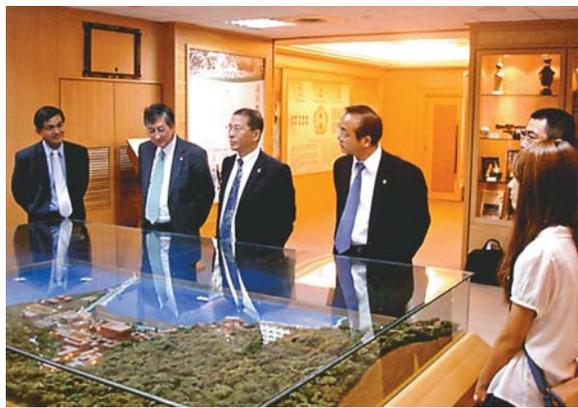
▽対談 鈴木寛氏、大矢根淳人間科学部教授、久木留毅文学部准教授

▽シンポジウム 伊調馨氏・米満達弘氏・松本隆太郎氏(以上、ロンドン五輪メダリスト)、鈴木寛氏、佐藤雅幸経済学部教授(社会体育研究所長)

【日時】10月29日(月)15時〜17時45分 【場所】生田キャンパス10301教室

△ 専修大学社会体育研究所 sports@sc.senshu-u.ac.jp

日高学長 国際交流協定校 台湾・中山大を訪問



▲ 中山大学キャンパス模型を見る中山大の楊学長と日高学長、大林国際交流センター一長、松木常務理事(左から)。右端は青木さん

日高学長、大林守国際交流センター長、松木健一常務理事らは9月14日、中山大内で楊学長はじめ郭志文・国際交流長、日本研究センターの責任者である林文程・社会科学学院院长、郭育仁助教らと懇談。学生の交換留学、教員の共同研究の促進などを確認し合った。また本学の社会知性開発研究センター/社会関係資本研究センターのプロジェクトで、中山大に協力を依頼した調査

楊学長らと懇談 共同研究など交流促進を確認

日高義博学長・理事長は、台湾の高雄市にある本学の国際交流協定校、中山大学を訪問、楊弘毅学長ら同大首脳と今後の大学間の交流について意見交換した。また、同大に留学中の青木千恵佳さん(文学部日本語学科3年次)を激励した。日高学長が中山大学を訪問するのは2006年以来2回目。



▲ 「歓迎」の横断幕を手にした台湾校友会のみなさんと。前列、日高学長をばさんで右は盧名譽会長、左は陳会長(台北で)

「歓迎」と励ましの言葉をいただきました」と感激した面持ちだった。

中山大学は1980年に創立された国立総合大学で、台湾の重点7研究型大学の一つに選定されている。留学生専用の寮が完備され、国際化に特に力を入れている。

本学とは2007年6月に国際交流協定を締結。留学による学生交流(中山大から4人、専大から1人(青木さん))と研究交流が展開されている。本年3月の台湾学生部セミナーには専大生16人が参加した。

同日夕、高雄市で台湾校友会主催の歓迎会が開催され、日高学長一行は新会長になったばかりの陳士奇会長(平8経営)らと懇談した。

翌15日は台北市に移り、同支部の盧中庸名誉会長(昭23専政)、盧杰輝前会長(昭63商)らと懇談。台湾校友会との親交を深めた。

本学留学生を激励 台湾校友会とも交流

・研究責任者・郭助教ら台湾への留学を強く希望していた。「気候は暖か、日本と生活習慣も似ていますし、なによりも人々は親切。苦労したとしても2月から来年1月まで留学中の青木さんと懇談。専大生として初の中山大交換留学生である青木さんは一行のキャンパス見学にも同行した。青木さんは高校時代から面とも悔いの残らないよ

メダリストらが子どもたちに五輪報告 「専修大学少年少女レスリング教室」



2012年度 川崎市スポーツ賞 サッカー部の受賞決まる

2012年度の川崎市スポーツ賞を体育会サッカー部が受賞することが決定した。

同部は第85回関東大学リーグ戦1部で初優勝、第60回全日本大学選手権で初優勝を遂げ、これが評価された。

なお、表彰式は11月8日、川崎市国際交流センター(中原区)で行われる。

アナリスト渡辺啓太さん 母校に凱旋

女子バレー28年ぶりメダルを「情報」で支えた

「専修大学のおかげで(協会)が9月20日、生田などさまざまな「情報」を逐次送るのが渡辺さんで28年ぶりに銅メダルに輝いた全日本女子バレーボールチームを「情報」で支えたアナリスト、渡辺啓太さん(平18ネット情報、日本バレーボールにプレゼントした。

真鍋政義監督が試合中、携帯情報端末「iPad」を片手に、ワンプレーごとに選手に声をかけ、指示する姿はすっかりおなじみになった。その真鍋監督のかたわらで、統計データに生かされました」と笑顔で話した。

日高理事長・学長は「ロンドン五輪の全日本女子バレーの全試合をテレビで観戦した。大活躍でしたね」と話しかける

と渡辺さんは「選手同様、アナリストにとって五輪は集大成の舞台。メダルはないが、うれしかった」と心じた。さらに「ネットワーク情報学の学生時代にたくさんことにチャレンジし、失敗もした。大学で学んだことすべてが、大舞台に生かされました」と笑顔で話した。

図書館神田分館 1階スペースがリニューアル



▲ グループディスカッションなどに最適な「グループ学習エリア1」

図書館神田分館は、このほどリニューアルされた。新聞・雑誌が気軽に読める「ブラウジングコーナー」として生まれ変わった。

インターネットやデータベールの利用、レポート作成のための「グループ学習エリア1」がリニューアル(AV・PCラウンジ)新設され、グループで学習を深めるコーナーが拡充された。

設けられた「ブラウジングコーナー」は、より明るく、使いやすい書架が地下1階から1階へ移動し図書館となった。



▲ 開放感のある「カウンター」



▲ 現在は「図書館がある生活」をテーマに関係書籍を展示中の「展示ケース」/情報検索、論文・レポート作成に使える「PCコーナー」(6席)



▲ 最新の雑誌や新聞が自由に閲覧できる「ブラウジングコーナー」